

科目名		単位数	担当教員	区分
平成26年度以降	政治思想史Ⅱ	2	慶野 義雄	
平成25年度以前	政治思想史Ⅱ	2		
教職	教員の免許状取得のための選択科目			教職
	教科に関する科目(中学校(社会)):法律学、政治学			
	教科に関する科目(高等学校(公民)):法律学(国際法を含む)、政治学(国際政治を含む)			
授業の到達目標及びテーマ				言語
西洋政治思想の本質は何かを探り、わが国の伝統や思想、国柄との調和を模索し、現代に生きる我々自身の政治生活のためのヒントを見出す。なお、本講義は教職の教科科目であり、その旨、配慮する。				共通
授業の概要				専門基礎
<p>わが国には、西洋と比較しても決して恥じることのないよき政治の伝統がある。しかしながら、明治維新期において、西洋の制度や思想を学び、アジアで最初の近代国家を作り上げたことも事実である。アメリカの占領政策は、アメリカの国益を民主主義と称したため占領政策を西洋思想そのものとの誤解が生まれた。また、西洋自体も、蔓延する利己主義、道徳破壊、人民迎合主義、民主的暴政などを危惧しているのであり、西洋思想を正しく理解することは急務である。</p> <p>本講義においては、西洋政治思想の本質は何かを探り、よきものは学び、悪しきものは排除し、わが国の伝統や思想、国柄との調和を模索し、よりよき政治生活の条件を探りたい。なお、この講義は、教職の教科科目であり、教員志望者に対しては、健全な国民教育のためのヒントを提供できればと願っている。</p>				法律一般
授業計画				政治行政
<p>第1回:西洋思想の伝統と日本政治、社会科・公民教育と思想史</p> <p>第2回:プラトンの『国家篇』——古代民主主義とその批判</p> <p>第3回:アリストテレスの『政治学』——中庸と調和</p> <p>第4回:キリスト教と中世政治思想</p> <p>第5回:マキアヴェリ『君主論』における政治的リアリズム</p> <p>第6回:ルターとカルヴァン</p> <p>第7回:ボーダンと主権論</p> <p>第8回:ホッブス『リヴァイアサン』における国家</p> <p>第9回:ロックと市民革命</p> <p>第10回:モンテスキューと立憲主義</p> <p>第11回:ルソーと『社会契約論』</p> <p>第12回:E.パークと保守主義の政治理論</p> <p>第13回:トクヴィルの『アメリカの民主政治』</p> <p>第14回:J.S.ミルの『自由論』</p> <p>第15回:K.マルクスと共産主義</p> <p>定期試験</p>				経営法務
テキスト				スポーツ福祉
慶野義雄『国民の政治学—保守主義の真髄』嵯峨野書院2940円 高坂正堯、市村真一編『ゼミナール現代日本の政治経済』の中の慶野義雄執筆部分				演習
参考書・参考資料等				25年度以前 政治行政コース
勝田吉太郎他編『政治思想史入門』有斐閣				
学生に対する評価				
学期末試験、小試験、平素の学習、出席などを総合して評価する。				